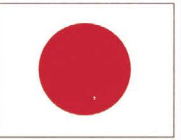




毎月十五日発行 社会 宗像 大社 宗像 大社 養父 守 定価 一年送料共 1000円



二月十一日には 国旗を掲げ 建国記念日を 祝いましょう

乙亥の年頭にあたり

宗像大社 宮司 養父 守



守るため難い生命を捧げられ、今日の平和と繁栄の礎を築かれた三百万余の戦没者に対し、心からなる追悼と感謝の意を表明する。また、戦禍によって多くの犠牲を強いアジアを初めとする世界の多くの人々の苦しみに悲しみに対しても、深く思いをいたし、謹んで哀悼の意を表するとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう先の大戦を歴史の教訓として先賢に学び、世界の恒久平和に寄与することをここに誓う。以上、決議する」とあり、

輝かしい平成七年の新春を迎え、謹んで皇室の御慶と国家の隆昌、併せて氏子崇敬長寿の益々の繁栄とご健勝を心より御祈り申し上げます。昨年、西日本一帯は、少雨、旱天、猛暑の異常気象に見舞われ、各地で深刻な水不足が報じられましたが、当社には幸いに地下水に恵まれ、手水舎をはじめ、境内諸施設への給水も充分に行きわたり、参拝の方々に御迷惑をかけることも無く安堵いたしました。一陽来復、今年のお恵み豊かに、安定した気象の回復を願って止みません。

さて、今年平成七年は、終戦五十周年に当りますが、今世界では、先の我が国の戦争を侵略戦争であったとして、諸外国に反省と謝罪を表明する国会決議を行おうとする計画が進められております。社外では、この決議を重大事に捉え、その歴史観をただし、戦没者への追悼と感謝の念を込めて、全国の規模で国民運動を行っており、全国から寄せられた国会での「戦争反省謝罪決議」反対の署名は、すでに四百万名以上に達しております。

こうした場合の中で、昨年十月十三日、滋賀県議会が、「先の大戦における戦没者への追悼および感謝」と恒久平和に関する決議が可決されています。決議の内容は「平成七年は、先の大戦が終結した五十周年という歴史の大きな節目の年である。滋賀県議会は、終戦五十周年という歴史の節目に当り、昭和の困難に直面し、祖国の安泰と愛する父母兄弟や、故郷の平安を

守るため難い生命を捧げられ、今日の平和と繁栄の礎を築かれた三百万余の戦没者に対し、心からなる追悼と感謝の意を表明する。また、戦禍によって多くの犠牲を強いアジアを初めとする世界の多くの人々の苦しみに悲しみに対しても、深く思いをいたし、謹んで哀悼の意を表するとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう先の大戦を歴史の教訓として先賢に学び、世界の恒久平和に寄与することをここに誓う。以上、決議する」とあり、

後、平和の時代に育った若い人の殆んどは、現在の我が国の繁栄が、英霊の尊い生命と遺族の悲しみによって築かれていることが知らず過していますが、五十年という節目の年に当り改めて英霊を顕彰し追悼することの意義は極めて大きなものがあると存じます。当社社域内は、日清戦争より先の大戦にかけて、護国のために尊い生命を捧げられた郡出身の戦没者二千三百一十一柱の英霊を合祀する宗像護国神社が奉斎され、春秋の大祭、地元女海町主催の慰霊祭、お盆の千灯明、そして毎月一日の命日祭を遺族の方達の手で参列の下に御奉仕しております。近年の御修理は、終戦

後間もない昭和二十八年八月十三日に屋根葺替工事に着手し、翌二十九年四月十九日に竣工しておりますが、爾來約四十年を経過して屋根の損傷が進み、昨年調査の結果、屋根だけに留らず、内部木材も老朽化し、全面的に解体修理の要ありとの果文化財課の指示を受け、本年夏より工事着手の計画を進めております。また、辺津宮拝殿につきましても、こけら葺の屋根葺替えが昭和二十八年に行われて以来四十一年以上経過し、損傷が甚しく憂慮しておりますが、国指定の重要文化財であり、その修理は文化庁の管轄下であり、再度に亘り調査が行われ、近く結論が出るものと予測されますが、出来得れば、中津宮本殿の御修理と併行して行いたいと思っております。何れにいたしましても、平成の御修理として後世に残る重要な事業です。万全期し慎重に進めていく所存ですが、今後事業の推進に当りましては、皆様方の格別御支援と御協賛をお願い申し上げます。今年正月松の内は、三日と四日雨模様で御参拝の足が鈍りましたが、その他の日は天候に恵まれ、初詣の参拝者も多く、御社頭は非常な賑わいを見せ、御社威を増すという言葉があります。神は人の敬により威を増す、という言葉がありますが、皆様方の御崇敬により、宗像大神の御神威がますます高く広く発揚されていくことは誠に喜ばしい極みであります。新しい年の皆様方の御多祥を心より御祈り申し上げます。年頭の御挨拶と致します。

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

宗像大社責任役員会 代表役員 養父 守 責任役員 出光 昭介 大野 茂 布江彌之助 河野 幸人 山本 三吾 占部真太郎 宗像大社中両宮奉賛会 会長 出光 太蔵 副会長 倉元 清彦 大森 良信 目原 徳夫 寺嶋 忠夫 監事 楠田 繁男 黒石 満 古原敬清文 新海 伍郎 宮本登志丸 日原 徳夫 福原 鶴夫

交通安全宗像大社の御神徳をたたえ奉りて 謹んで新年の御祝詞を申し上げます

Advertisement for Toyota dealerships in Fukuoka. Includes logos for Toyota and Toyota Sales Group, and lists of dealerships such as Fukuoka Toyota Automatic Vehicle Co., Ltd., Fukuoka Toyota Petrol Co., Ltd., Fukuoka Toyota Car Co., Ltd., Fukuoka Toyota Car Co., Ltd., and Fukuoka Toyota Car Co., Ltd. with their respective addresses and phone numbers.

# 年頭の御挨拶

宗像大社氏子会長 出光 太蔵



平成七年の新春を迎え、皇室の弥栄と、宗像大社御祭神の御徳の御褒揚を祈念し、併せて氏子崇敬者の皆様へ謹んで、新年の御祝詞申し上げます。

昨年の恒例御祭儀は恙なく肅行され、また御祭行事も無事終了されました、新年を迎え祝喜に存じます。

玄界灘に浮ぶ二つの島、沖ノ島に沖津宮(第二宮)、大島に中津宮(第三宮)が鎮座され、その分霊を内陸津津宮(第一宮)境域にお

# 年頭のご挨拶

沖中両宮奉賛会長 目原 徳夫



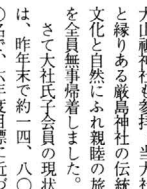
新春を迎え皇室のご繁栄を奉ぎ宗像大社の益々の御神徳の褒揚を祈願し、三女神の御加護のもと氏子の皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

大島には沖津宮中津宮という二つの旧官幣大社が有り昔より敬神崇祖の尊く、諸準備には役員一同積極的

に奉仕されその姿には唯々感謝の念で一杯です。小さな村で立派なお宮を二社も持っているのは日本中に他

# ご挨拶

福岡県議会議員 伊豆 善也



平成七年の年頭にあたり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

さて、今日、わが国の国際的地位は飛躍的に向上し、経済文化等あらゆる面において世界をリードする立場

# ご挨拶

福岡県議会議員 小山 達生



平成七年の年頭にあたり、皆様のご多幸とご健勝を祈ります。

一昨年から続く政治の激動は収束に向かうところか

# ご挨拶

宗像警察署長 池田 博之



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族ともどもめでたく新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

# 宗像大社は、「古事記」

「日本書紀」にもその名をとどめ、国家的信仰を集める

宗像大社は、各地に自立的に文化サークルが発生し、文化の同好会が活躍して

宗像では各地に自立的に文化サークルが発生し、文化の同好会が活躍して

宗像大社は、各地に自立的に文化サークルが発生し、文化の同好会が活躍して

宗像大社は、各地に自立的に文化サークルが発生し、文化の同好会が活躍して

平成七年 交通安全宗像大社の御神徳をたたえ奉りて 1995

## 謹んで新年の御祝詞を申し上げます

### 日産サニー福岡販売株式会社

代表取締役社長 片桐 靖 泰

福岡市博多区半道橋1丁目9番10号

電話(代)092-411-4321

### 日産プリンス福岡販売株式会社

代表取締役 楠見 記 久

福岡市中央区平尾3丁目5-3

電話(代)092-531-9561

—今年も安全運転を心掛けて下さい—

# 新たな門出を思う

## 宗像市助役 畑 中新治



新年あけましておめでと  
うございます。  
一年の計は元日にありと  
言います。「宗像」こそ愛読  
の書は如何でしょうか。  
若水をくみ身を清め、神棚  
に手を合わせ拝む。気分新  
たに纏を巡らせ、一年の  
大計を練る。これを、年初  
めのならわしとされる方は  
多いと思います。  
しかし、振り返ってみて  
計画どおり一年が推移した  
と実感できる時はまれで  
あるご時勢ではないでしょ  
うか。

お互いのきずなを強くして  
その時々々の趨勢を見極めて  
消防・清掃・上下水道など  
広域的な対応が必要なる事業  
は共同で積極的に推進して  
きています。  
だが、宗像にとって今ま  
ではない大きな転換期に差  
しかかっているといえます。  
環境・福祉・高齢化など重点  
をおいた施策を心掛けなけ  
ればなりません。このソフ  
ト事業を推進するの基盤が  
どこに求められようか。地  
域住民と共に汗し、考えな  
ければならないと思います。  
福岡・北九州両政令都市  
の中間に位置する利点を十  
分に活用できればと思いま  
す。先祖が残してくれた豊  
かな自然環境と歴史文化を  
活かしたまちづくりを基本  
として、地域住民のご理解  
を求め、事業を進めなけれ  
ばならないと考えています。  
平成七年宗像大社初詣で  
のご神前にて、地域住民の  
安寧を願ひ、宗像の発展に  
格別のご加護あれとお祈り  
した次第です。

# 年頭のご挨拶

## 玄海町長 和田 延 広



謹んで新春のお慶びを申  
し上げます。  
平成七年の年頭に当り、  
皆様のご健勝とご多幸を心  
からお祈り申し上げます。  
はるか古代から宗像地方  
は、大陸文化の玄関口でし  
た。小さな船で、沖ノ島や  
大島(の山々)を座標にして、  
荒海の玄界灘を往来し、大  
陸の文化を日本に伝えてき  
たのが私たちの先人たちで  
あります。以来、この地は、

「神郡宗像」と呼ばれ、宗  
像大社を中心に、大陸交通  
の拠点として栄えてまいり  
ました。  
現在の宗像は、福岡・北  
九州の福北大都市圏の一員  
として、東北と南の核とし  
て、それぞれの特性を生か  
したまちづくりが進められ  
ているところです。  
本町では、昨年、二十一  
世紀に向けた町の指針とし  
ての第四次総合計画の基本  
構想と基本計画を策定しま  
した。

「文化かおる海浜田園都  
市」を基本理念に「海と緑  
を生かした。住みたいま  
ち。行きたいまち。げん  
かい」の創造をテーマとし  
て、都市基盤の整備、生活  
環境の充実、健康づくり、  
教育・文化・コミュニティ  
の推進などがあつきます。  
町政運営に、積極的に取り  
組みながらも、本町が持つ  
宗像大社に代表される悠久  
の歴史と伝統を重んじて、  
新しいふる里を築き、作っ  
ていきたいと思つていま  
す。最後に、平成七年の年頭  
に当り、宗像大社の御加護  
によって、皆様のご多幸し  
ご繁栄を心からお祈り申し  
上げると共に、本年も皆様  
の相変わらぬご指導、ご協  
力を切にお願いし、新年の  
ごあいさつといたします。

# ご挨拶

## 津屋崎町長 大坪 恒 章



謹んで新春のご祝詞を申  
し上げます。  
私は、元旦を迎え大社神  
殿にぬかづき、国の平和と  
住民の幸せとそして公の大  
義のために生きることを誓  
つてまいりました。

昨年、政治の世界では  
信じられないような出来事  
が起りました。それは、  
戦後から今日までの長い間  
にわたって、国旗、国歌、  
自衛隊など政策のほとんど  
の分野で激しく対立してき  
た自民党と社会党が一転し  
て手を結び、政権の座にこ  
いたという事。これ  
は、ベルリンの壁崩壊に匹  
敵する出来事でした。いま

# 新年のご挨拶

## 大島村長 杉田 恵 次



新年おめでとうございま  
す。  
穏やかな朝、宗像大社中  
津宮の社頭に、郷土大島の  
発展、村民の平安を祈願し  
ました。  
大島では元日の恒例とな

りました、歩こう会が発足  
し今年で十五回目となりま  
す。この歩こう会は、元旦  
の朝、島では最高峰の御嶽  
山頂に建立の中津宮の奥の  
院、御嶽神社の参拝と健康  
づくりを合せ、徒歩で参拝  
するものです。途中、島の  
裏側の岩瀬に立寄り、  
ここは沖ノ島を洋上正面に  
望む地で、中津宮参拝所が  
有り、ここで中津宮を参拝  
し目的地の御嶽山頂上へ至  
ります。

# ご挨拶

## 福岡町長 矢野 久 雄



皆様にはすがすがしい新  
春をお迎えのことと心から  
お慶び申し上げます。

ご承知のとおり宗像市郡  
は、古くから宗像大社を中  
心とした神郡として、また  
大陸交通の拠点として栄え  
てきましたが、このふも誇  
りと宗像を私はいつも誇  
らしく感じており、宗像大  
社を心の糧とした祖先伝来  
の精神文化・伝統文化が子  
孫に伝承されることを願っ  
ています。

正に、激動の時代、既成概  
念からは計り知れない変革  
が起つています。  
一方、自然界も天変地異  
の年で、空前の大洪水によ  
り、当地域も夜間断水の止  
むなきに至り、皆様に大変  
ご迷惑をおかけしました。  
近年、異常気象が多発し  
ていますが、私は人間の営  
みに対する自然からの警鐘  
ではないかと考えていま  
す。  
宇宙からみた地球は、大  
気に漂う小さな宇宙船のよ  
うにも見えます。このよう  
な限りある、そして閉鎖的  
な地球環境の中で、人間が  
止めどもなく川や海を汚し、  
森林を乱伐し、フロンガス  
で大気層に穴を開け、大量

のゴミを排出し続けられ、  
地球の未来はどうなるので  
しょうか。  
私は、人間の果てしない  
欲望のおもむくままに突き  
進んできた物質文明のたど  
りつく先に危惧の念を抱く  
ものです。人間は、この辺  
での関係について、根本か  
ら謙虚に考え直す必要があ  
ると思つています。  
おわりに本年も、住民福  
祉の向上のため精一杯努力  
する所存でありますので、  
皆様方の御力添えを切にお  
願ひしますと共に皆様の御  
多幸を祈念し、新年の挨拶  
とさせていただきます。

今年も政治の混迷は続く様  
相にあり、昨年来地方の時  
代と言われ国会では行政改  
革・地方分権といったこと  
が議論されています。未  
端行政にどういったかわか  
りとなってくるのか関心の  
一つでもあります。  
本町は現在新幹線のフェ  
リおおしまの代船が大分  
県日野造船所で建造中で、  
四月下旬には就航を開始し  
ます。  
大島村の活性化への願い  
もかけられています。  
宗像大社の守護のもと、  
宗像地区が益々発展を遂げ  
ますよう祈念し挨拶とし  
ます。

ご協力を得て、懸案の公共  
下水道の整備、町の長期  
的な進路を決める総合計画  
の実現に向けて取り組んで  
いきたいと思つております。  
長引く不況で経済情勢も  
厳しさを増していますが、  
心機一転、この厳しい環境  
を乗り越え、更なる住民福  
祉の向上と町勢発展のため  
の行政を推進する決意を新  
たにしていきます。  
今年も相変わらぬご指導  
とご協力をお願い申し上げ  
ますと共に、皆様方のご繁  
栄とご健勝をお祈りして、  
新年のご挨拶といたします。

交通安全宗像大社の御神徳をたたえ奉りて

1995

# 謹んで新年の御祝詞を申し上げます

平成七年

<p><b>九州三菱自動車販売株式会社</b></p> <p>取締役社長 坂本 良夫</p> <p>福岡市東区箱崎ふ頭五丁目四番七号 電話(代)〇九二一六四一一八一</p>	<p><b>福岡日野自動車株式会社</b></p> <p>取締役社長 樽木 雅春</p> <p>福岡市東区箱崎ふ頭二丁目三番六号 電話(代)〇九二一六四一一七三</p>	<p><b>福岡ダイハツ販売株式会社</b></p> <p>取締役社長 内山 学</p> <p>福岡市博多区東比恵四丁目十番二号 電話(代)〇九二一四一一一三三〇</p>	<p><b>九州三菱自動車販売株式会社</b></p> <p>取締役社長 藤野 三記夫</p> <p>福岡市中央区薬院三丁目二番三番三番 電話(代)〇九二一五二一一四二</p>
<p><b>法団 日本自動車連盟九州本部</b></p> <p>本部長 金子 宜嗣</p> <p>福岡市早良区室見五丁目三番七号 電話(代)〇九二一八四一一七〇〇</p>			



### 宗像大社歌会 俳句作品集(三八)

ひかりヶ丘 南 萬里  
初日影鶴はいっぱいに翅ひらく

自由ヶ丘 細川 絹子  
洗ひもの干す肩叩く柿落葉

若松 高橋 忠實  
門松に南天そえて春待つ

日の里 花田いつ枝  
若者のメニューに尽きて二日客

福岡中央 力丸 玄風  
ノベルに大地揺らさし木守柿

若松 井手 清隆  
幻日に鳴き砂泣かす冬めくし

藤沢 井上 玄洋  
影引きて落葉散りし遊歩道

福岡 森 清  
時雨るるや尿の犬に傘をさす

### 第四〇三回 宗像大社歌会詠草

中村 吾郎 選

毎月末日メ切

福岡 池浦千鶴子  
一本の紅葉したるはぜの木に廻り道せりきのふもけふも

大島 越智 治子  
一首で作者の目を通してその一本の榎の木紅葉が鮮明に見えてくる。

八幡東 古賀ハツネ  
かにかくに米寿を生きて曾孫の花嫁姿に涙の止まず

津屋崎 佐々木和彦  
北陸の鴨ヶ池なる水面に鴨数百の波にたゆたふ

自由ヶ丘 津江富美子  
明け初むる空にくっきり四塚の黒き稜線わが前にあり

福岡東 桜井 ツ子  
祭りより帰る少女の抱くがに持てるひよこが座席に暗ける

自由ヶ丘 細川 絹子  
並ひ立つ白柁石仏あま露に耐へ来し顔の表情ゆたか

福岡 山田よし子  
雨の中の一見ヶ浦の夫婦岩眼を閉じて亡き夫を思へり

池田 小田 イセ  
溜池の底ひあらはな一所とばしき水に鴨の寄り合ふ

吉留 白木うめ  
雲間から強き日の射し降る雨の微粒子となり光り落ちくる

日の里 後藤 君代  
「水鏡」を覗けば蒼空に紅葉あり澄みたる端に吾が影黒し

大島 杉田 禮子  
夕暮れの浜に黙々と船洗う漁夫ありそれぞれ一年が逝く

徳重 石松や寿子  
生前に植へおかれたる白玉椿今年も初花を祖父に供へぬ

城西ヶ丘 石井 陽子  
通勤の車に並木眺めを擲るの枯葉ははらと散る

名古屋 小田 留子  
立ち話あまり良くなき事らしく聞きおる相手メガネふきいる

八幡東 古賀ハツネ  
かにかくに米寿を生きて曾孫の花嫁姿に涙の止まず

津屋崎 佐々木和彦  
北陸の鴨ヶ池なる水面に鴨数百の波にたゆたふ

自由ヶ丘 津江富美子  
明け初むる空にくっきり四塚の黒き稜線わが前にあり

福岡東 桜井 ツ子  
祭りより帰る少女の抱くがに持てるひよこが座席に暗ける

自由ヶ丘 細川 絹子  
並ひ立つ白柁石仏あま露に耐へ来し顔の表情ゆたか

福岡 山田よし子  
雨の中の一見ヶ浦の夫婦岩眼を閉じて亡き夫を思へり

池田 小田 イセ  
溜池の底ひあらはな一所とばしき水に鴨の寄り合ふ

吉留 白木うめ  
雲間から強き日の射し降る雨の微粒子となり光り落ちくる

日の里 大和美由起  
美登寄訪へば貼りに五周年窓辺に薔薇の華やきて咲く

### 宗像大社一ヶ年祭事表

一月一日	元旦祭
一月二日	新年祭
一月三日	元始祭
一月十三日	献米奉告祭
一月十五日	成人祭
二月三日	節分祭
二月十一日	建国祭
三月十九日	松尾神社祭
三月二十一日	皇霊殿遥拝式
四月一日・二日	春季大祭
四月二日	宗像護国神社祭
四月十四日	沖・中両宮春季大祭
四月二十九日	昭和祭
五月五日	五月祭・浜宮祭
五月二十七日	沖津宮現地大祭
七月十五日	祇園祭
七月三十一日	大祓式並夏越祭
八月七日	中津宮七夕祭
八月十五日	護国神社戦没者追悼祭
九月一日	千灯明
九月一日	風鎮祭
九月二十三日	皇霊殿遥拝式
十月一日	海上神幸「みあれ祭」
十月一〜三日	秋季大祭「田島放生会」
十月三日	宗像護国神社祭
十月十七日	表千家々々元献茶祭
十一月三日	明治祭
十一月七日	沖・中両宮秋季大祭
十一月十五日	七五三祭
十一月二十三日	新嘗祭
十二月十五日	古式祭並鎮火祭
十二月十九日	松尾神社祭
十二月二十三日	天長祭
十二月三十一日	大祓式並除夜祭
毎月一日	月次祭
毎月十五日	月次祭

### 賀正

松尚開発株式会社  
福岡国際カントリークラブ

池と赤松の三十六ホール  
福岡県宗像市大字朝町  
電話〇九四〇・三二一三五四四代

### 御礼

宗像大社 宮司 養父 守  
宗像大社 宮司 養父 守  
宗像大社 宮司 養父 守

### 献米袋配布並に取纏め御礼

平成六年度宗像大社献米袋配布に当たり、市・郡氏子会各位への献米袋配布並びに取纏めにつきましては、年末年始お忙しい中、御協賛を賜り厚く御礼申し上げます。

### 賀正

西日本開発株式会社  
玄海ゴルフクラブ

### 賀正

玄界灘を望む風光明媚な  
格調高いシーサイド・コース

福岡県宗像郡玄海町  
電話〇九四〇・六二二三三三三三(代)



平成七年

## 新年おめでとうございます

1995



〇玄海国定公園の中心……風光明媚……生魚料理……宗像大社からバス5分……神湊旅館組合

魚屋旅館  
電話〇九四〇・六二二二二番

みなと荘  
電話〇九四〇・六二二二二番

玄海旅館  
電話〇九四〇・六二二二二番

高嘉旅館  
電話〇九四〇・六二二二二番

ニユ一千鳥荘  
電話〇九四〇・六二二二二番

大島屋旅館  
電話〇九四〇・六二二二二番

松風荘  
電話〇九四〇・六二二二二番

泉館旅館  
電話〇九四〇・六二二二二番

魚庄  
電話〇九四〇・六二二二二番

川口屋旅館  
電話〇九四〇・六二二二二番

はま荘  
電話〇九四〇・六二二二二番

神湊スカイホテル  
電話〇九四〇・六二二二二番

玄海ロイヤルホテル  
電話〇九四〇・六二二二二番